

# 反映状況票

(単位:百万円)

省庁名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	元年度予算額	2年度予算案	増▲減額	反映額
国土交通省	(36) 先進的な保安検査機器整備費補助	本省	—	11,377の内数	3,191の内数	▲8,186の内数	▲1,502
事案の概要	航空運送事業者等が、ハイジャック等の防止のため使用する保安検査機器（門型金属探知機、X線検査装置等）を購入する場合に、空港設置管理者（国・地方自治体等）はその経費の1/2を補助している。このうち先進的な保安検査機器（ボディスキャナー等）の整備費については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた緊急的な導入促進の観点から、上記の空港設置管理者の1/2補助に加え、国が時限的措置（平成28年度～東京オリ・パラ開催まで）として、さらに1/2を補助している。						

## 調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

### 1. 先進的な保安検査機器の導入コストについて

- 同等の能力を有している先進的な機器の価格差について、原因を精査し、妥当性の検証をすべき。
- 合理的理由が認められる場合を除いて補助額に上限を設けるなど、予算の効率的な執行をすべき。
- 調達に当たっては、合理的な理由が認められる場合を除いて競争性のある調達方法に改善すべき。
- 特例的な補助の終了後は、航空運送事業者等と空港設置管理者が費用を分担する従来のスキームに戻すべき。

### 2. 設置等の要件について

- 費用対効果も十分勘案した導入基準を設定すべき。
- 検査の効率性を低下させることがないように、運用面での好事例を横展開し、保安検査の高度化と効率的な検査体制の両立を図るべき。
- 先進的な機器の導入により検査員の効率的配置が可能となるのであれば、その成果を適切に予算に反映すべき。

## 反映の内容等

### 1. 先進的な保安検査機器の導入コストについて

- 先進的な機器の導入が始まった平成28年度以降の導入状況を調査することにより適切な市場価格を把握し、妥当と考えられる補助額を上限として補助要綱を見直したうえで、効率的な予算執行に努めることとした。（反映額:▲604百万円）
- 調達方法については、原則として競争性のある調達方法によるべきことを補助要綱に規定し、補助事業者への指導に努めることとした。
- 特例的な補助の終了後は、コスト意識を持った調達を図る観点から、航空運送事業者等と空港設置管理者が費用を分担する従来のスキームに戻すこととした。なお、費用分担の原則を踏まえつつ、先進的な機器の導入を加速化する観点から、従来型の機器から先進的な機器への入れ替えを促進する仕組みを時限的に措置することとした。（反映額:▲898百万円）

### 2. 設置等の要件について

- 特に高額な先進的な機器については、費用対効果を勘案し、空港の規模に応じた導入基準を設定する。
- 先進的な機器を導入したことによる運用面での好事例については、関係者間での情報共有に努め、保安検査の高度化と効率的な検査体制の両立に努めていく。
- 新たな機器の導入による検査員の効率的配置については、今後、各空港での機器の運用状況を調査のうえ、予算への反映に努めていく。